

遊休地利活用を成功に導く 最適プラン

(株)NTT西日本アセット・プランニング九州支店

経営環境が日々変化する昨今。所有する不動産の利活用は、企業にとって競争を生き抜く大きな動力源となる。そんな中、多岐にわたる開発実績で注目を集めているのが、(株)NTT西日本アセット・プランニング九州支店(福岡市博多区上川端町、大橋宗純取締役九州支店長)だ。

同支店は駐車場や集合賃貸住宅、店舗のほか、近年では商業・医療施設、介護福祉施設、オフィスビルなどを九州各地で開発。直近ではNTT西日本米町ビル(北九州市小倉北区米町2丁目)跡地に、総フロア面積1万1600㎡の10階建てオフィスビル、東福岡高校南西側の東比恵社宅跡地では10階建て賃貸マンション「ウエルフォート比恵」を建設し、後期プロジェクトの開発も計画している。

同マンションには電子キーや空調システムなど入居者のライフスタイル向上を目的とする多様な技術やシステムを導入。「ICTマンショントラリアル物件」として取り組むなど、NTT西日本グループのノウハウや技術を活用できるのも同社の強みと言える。

初の高級レジデンスを 地行で開発

同社が案件を開発する場所はNTT西日本グループの遊休資産が大半。立地性に優れた場所は投資効率が高い一方、駅から離れた場所や立地が良くない土地に関しては、多くのデベロッパーが不得手とすることだろう。しかし、同社では有効活用にむすびつきにくい用地でも、地域のニーズをくみ取り、最適なプランを立案すること

で成功に導いてきた。

また、同社では福岡市に点在する社宅や独身寮の利活用も進めており、福岡市西区今宿3丁目にスポーツクラブ「ホリデイスポーツ」(21年2月完成予定)、同市中央区地行3丁目に6階建て賃貸マンション(21年2月完成予定)を建設。沖縄県浦添市城間4丁目では7階建てオフィスビルを、21年春完成を目指して開発している。

特に地行3丁目の賃貸マンションは、今年開業した大型商業施設「マークイズ福岡もち」や「福岡ドーム」の隣接地という立地を生

かした、同社初の「高級レジデンスマンション」となる。敷地内には博腎会病院が運営する消化器内科クリニック、MIIMSTYLUCC(株)が運営するカフェも入居するなど、高い住空間の実現を目指している。

遊休資産を利活用するための方針やサービスを提供している会社は数多く存在する。しかし、NTT西日本グループとしての信頼力、開発実績を持つ同社の存在は、遊休資産の利活用を検討している企業にとって強い味方になることだろう。

NTT西日本AP

お客様がお持ちの不動産を活用してみませんか？

時代のニーズに合わせた付加価値をプラスして、お客様のスタイルに最適な不動産ソリューションをご提供します。



弊社は、不動産利活用のプロフェッショナルです。お客様からご要望いただければスタッフが伺います。

株式会社NTT西日本アセット・プランニング
九州支店 TEL 092-263-6181

ホームページ <https://www.ntt-ap.co.jp/>